令和３年度　人権教育研究推進事業　<人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名	横浜市	学校名	瀬ケ崎小学校
人権課題	同和問題	対象学年・取り扱った教科等	6年生 社会科

目標・人権教育のねらい	戦後の日本において、日本国憲法に記されている権利がどのように実現されてきたのかについて、教科書無償化の具体的な取組を調べたり、考えたりすることを通して、どのように憲法が生かされ、生活が向上してきたのか、具体的な人々の姿を通して理解することができる。
実施した内容	○戦後の日本は、どのような国を作りたかったのだろう（1時間） ○作りたい国に、本当に日本国憲法に生かされているのだろうか（1時間） 　・自分たちと身近な憲法の条文について調べる ○教科書はどのようにして無償になったのだろう（4時間） ○どのように今日の日本を築いていったのだろう（4時間）
工夫した点	・入学時に教科書が入っていた袋を提示したり、「教科書が無償でなかったらどうなるか」などの問いかけをしたりするなど、子どもたちに切実感をもたせる工夫をした。 ・今までの研究で作成した資料（読み物資料、年表、掲示資料など）を、実際に教科書無償のために尽力した人々の行動や当時の人々の様子を知ったり、問題解決のための根拠となるように活用した。 ・じっくり自分の考えをまとめたり、文章で書いたりする時間を確保した。
他教科との関連	いじめの問題につなげ、劇を制作し、発表した。（総合的な学習の時間等活用）

令和３年度　人権教育研究推進事業　<人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名	横浜市	学校名	瀬ケ崎小学校
人権課題	命の大切さ	対象学年・取り扱った教科等	全学年・希望保護者 道徳科等

目標・人権教育のねらい	・こどもホスピス代表の話を聞いて、命の大切さや、一人一人がかけがえのない存在であることに気づく ・学区にできた子どもホスピスについて、関心をもち、自分にできることを考えようとする。
実施した内容	○こどもホスピス設立に込められた代表の思い ○こどもホスピスの意義 ○「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち～」の紹介 ○命の大切さや一人ひとりがかけがえのない存在であることについて ○質疑応答
工夫した点	・事前に、教職員が、「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち～」を訪問し、施設の見学を通して、直接話を伺う機会を設けた。 ・日常的に取り組んでいる「自尊感情の育成」と関連させながら、授業の振り返りや他の取組に繋げられるようにした。
他教科との関連	・人権学習（社会科・総合的な学習の時間・生活科）、道徳科　等